



# 市P連だより

くわん



尾道市PTA連合会  
会長 半田真悟

平成25年度、引き続き尾道市PTA連合会会長に就任いたしました半田真悟と申します。日頃より市P連の活動に対し、ご理解とご協力を頂き、感謝を申し上げます。

この春入学された児童・生徒のみならず、早一学期が過ぎようとしています。友達も多く出来て、新しい環境にも慣れ、楽しい学校生活を送られていることと思います。ご父兄の皆さまも子ども達の日々の成長に、びっくりされているのではないかと思います。

夏休みには、新入生だけでなく児童・生徒のみならず、一学期を振り返って、二学期に向けた準備を整える有意義な時間を過ごしていただきたいと思っています。

子ども達は、強い意志をもち、ピンチに強い心を持った人に成長しようとしています。そして苦しい時やしんどい時を乗り越え、目標を達成した時の素晴らしい笑顔を見せる事ができる人に成長しようとしています。

子ども達は、笑うこと、泣くこと、怒ること、喜ぶことなど、いろいろな感情や表情を持つことで心を鍛えてほしいのです。そして多くの経験をすることで人の優しさを感じ、感謝する心が生まれ、その感じた事をまわりの人に伝えてほしいと思います。

私たち親は、子どもを甘やかすのではなく、見守り、そっと背中を支えながら、子ども達ができるだけ自分の力を信じる事のできる環境を作る事が大事だと思っています。

昨年は私自信が大変、勉強をさせていただきました。尾道をより良い街にする為、子ども達により良い環境を整える為に大変多くの皆さまが議論し、活動している事を知ることができました。

その中に食育に関する会議があります。子どもに関する事でなく、いろいろな年齢層の食に関する統計をとり、環境改善に活かしています。子どもに関する事で、未だ朝食を取る事が100%未満という状況があります。子どもが成長する中で食の大事さは、ご父兄の皆さまも充分承知されている事と思います。

昨年度、第60回日本PTA全国研究大会京都大会の分科会講演での食育のお話の内容を紹介いたします。

子どもたちは食べ物の好き嫌いはあると思います。嫌いだからと言って食べないことをあきらめていませんか？ アレルギー体質で食べられない事はあると思いますが、単に嫌いだからと言って食べないのは大人になって味覚の発達に影響がある事をお話されていました。私も経験があるのですが、ご父兄のみならずも経験があると思います。子どもの頃あまり美味しく感じなかった食べ物大人になってからいつの間にか美味しいと感じられたことはありませんか？ これは子どもの時に経験した味が、大人になってから味覚の発達により、美味しく感じられるようになるという事例です。子どもの時に経験する事が大事だとお話をされていました。

食に関する大事なポイントはたくさんあると思いますが、まずは、正しい食生活を育む環境を整えていきましょう。

尾道市PTA連合会では、各単Pを支える活動を中心に、そして行政、地域、学校が一体となって子ども達にとっても、私たちにとても安全で安心な街づくりと子ども達を取り巻く教育環境をより良くする為に、関係諸団体と連携をとり、その環境づくりの活動と一緒に取り組めます。

尾道をより素晴らしい街にする為に、みな様とともに未来を創造して行きましょう。

最後に、東日本大震災の復興を願い、昨年度「心のきずな61キャンペーン」では、皆さまに大変お世話になりました。

本年度も、東日本大震災支援活動を行いますので、引き続きご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

## 定例総会

5月11日に尾道国際ホテルで、平成25年度定例総会が開催されました。

出席者は140名(委任状20名)により、規約に基づく会議の成立が宣言され、議事に入りました。

議事では、平成24年度会務報告、決算報告がされ、監査委員からの監査報告後、全会一致で承認されました。

また、平成25年度の市P連会長として、半田真悟会長が前年度に引き続いて任命され、その他役員、監査委員の提案も承認されました。

半田市P連会長の初任表明に引き続き、平成25年度事業計画、予算案等が提案され、審議事項は全て全会一致で承認されました。

総会議案においては、規約改正が提案され、年3回行っていた総会を年2回とし、名称を前期総会、後期総会とすることとなりました。

半田会長の初任表明は、「みんなの未来を」と題して、今年度も子ども達や私たち大人の笑顔が見られる取組みを続けてまいりたい。子ども達が心に持つ、強い志を支え、それぞれの目標を達成したときのすばらしい笑顔が見られるよう、行政、地域、学校が一体となり、また、諸団体とも連携し、頑張ってまいりたい。加えて、引き続き、東日本大震災の復興支援にも力を注ぎたい。とのメッセージが発信され、会場から大きな賛同の拍手が起こりました。

総会終了後、市P連主催の研修会として、広島県教育委員会から奥田米穂管理部長、職員課課長補佐様から「コミュニティ・スクール」と題した講話もあり、とても意義深い研修会となりました。

その他、PTA功労者表彰規定に基づき、数多くの方々、栄誉ある賞を贈られました。

懇親会には、地元選出の高山県議、吉井県議、市議会より内海副議長、杉原文教委員長、加納副市長、山北教育委員長をはじめ、数多くのご来賓にお越しいただき、各PTA、育友会と年間行事や教育フォーラム、市P連親睦ソフバレーボール大会への意気込みを語り合いました。

会員の皆さま、各担当役員の皆さま、今年も一年間、どうぞよろしくお願いたします。



## 表敬訪問

去る7月1日、市P連正副会長と幼P連会長による挨拶と、要望活動を行うため、平谷市長、藤本市議会議長、佐藤教育長を表敬訪問しました。



表敬訪問における要望活動は、各小中学校及び、幼稚園からの個々の要望に合わせ、PTA連合会として一丸となった要望を行うことで尾道市全体の学校、幼稚園の教育現場をさらに質の高いものになるように。との願いから行われているものです。

市P連から各学校の施設改修項目としてトイレの洋式便器化への改修、耐震工事期間の騒音振動対策とエアー設置、体育館の床改修の要望等を掲げました。

あわせて会員の皆さまが、参観日や様々な学校活動の中で感じ、各学校ごとに集約された内容が、少しでも現実のものとなるようにと、市P連会長から重ねて要望させていただきました。

平谷市長からは、「私は、市P連や会員の皆さんの求める内容についての共通認識を持っている。要望事項については、順に検討してまいります。また、市P連の活動が、今後も各地域で様々な課題に直面している単位PTAの支えになるよう願っている。」などのコメントがありました。

藤本議長からは、「特別支援学級や、支援員の配置を含めた支援は非常に大切だと考えている。要望事項については、実現可能なものから議会としても検討してまいります。」とのコメントがありました。

佐藤教育長からは、「当面は耐震化を優先したい。また今年度も一部の学校では、トイレの改修や体育館の床補修の事業を進める予定である。」とのコメントがありました。その他、教育全般に関する幅広い意見交換がされ、内容の濃い表敬訪問となりました。

## 筆頭副会長

一色伸良

本年度、筆頭副会長を務めさせて頂きます。因島南中学校PTA会長の一色伸良です。半田会長を補佐し、各事業や会議が円滑に進みますよう、調整に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



PTA活動の目的は、子ども達の健やかな成長を願い、先生方と協力し、家庭・学校、そして地域と連携して子ども達の生きる力を大きく行っていくことです。そのため市P連では、教育フォーラムや、親睦ソフトバレーボール大会等の事業を行うことにより、保護者同士の連携を深め、情報交換や研修により意識を高める一助となり、各学校での活動に活かして頂ければと思います。

なによりも私たち大人が、生き生きと楽しく積極的に活動している姿を、子ども達に見せていく事が大事だと思います。お互いの地域の良さを理解しあい、子ども達が誇りを持って尾道を創造してまいりますように。笑顔の溢れる市P連となりますよう、一年間よろしく願います。

## 総務部担当 副会長

山元剛介

本年度も総務部会担当の副会長をさせて頂きます。栗原中学校PTA会長山元剛介です。



総務部会としての役割は総会の運営等全般にわたりますが、会員の皆様が参加される市P連の事業に対して事務的な事を中心としてサポートさせていただきます。各部署の方々がそれぞれ担当の事業を行う上でより良い成果が得られますよう微力ながら協力してゆきたいと思っておりますのでよろしくお願致します。

そして、各単位PTA・育友会様は子ども達の為に様々な活動をされ活躍されている事と思います。主体となる各単位PTAが集まった連合会として活動の情報を共有できる環境作りを行うてゆきたいと考えています。昨年度開催しました会長研修会も検討していきたいと思っております。そういった活動を通じて保護者間の親睦を深め連携を図ることや意識の向上を

図ることで尾道に育つ子ども達が今後もそれぞれの地域において様々な事を体験し、学ぶ事が出来るよう保護者みんなで学校等を支援し将来子ども達がこの尾道で、またそれぞれの地域で育ち学んだという事に誇りを持って、その活動のサポートをして行きたいと思っております。

PTA・育友会活動は当たり前の事ですが子どもが小学校、中学校に在る間の限られた時しか出来ません。この限られた時間の中で親として地域の者として少しでも無理をして頑張りたいと思っております。総務部会として会員の皆様にはいろいろとご無理なお願いをすることもあると思いますが尾道の子ども達の為に又皆様の地域の子どもの為に積極的にご協力いただければありがたいと思っております。何卒よろしくお願致します。

## 安全部担当 副会長

柴川輝明



本年度、安全部担当の副会長をさせて頂きます。御調中副会長の柴川輝明です。一年間どうぞよろしくお願いたします。

市P連活動に参加して四年目に入りました。単P、市P連とPTA活動を通じて得た、かえりたいものは「人との出会い」それが私にとって「力」や「励み」となり、お金では買えない宝物になりました。今年もどんな出会いがあるのか楽しみです。PTA活動は究極のボランティア活動ですが、この活動を経験できるのは今しかありません。子ども達の将来のため皆さんと協力しあつて「笑顔」「元氣」「楽しく」活動していけたらと願っています。

昨今、子ども達を取り巻く環境を見ますと、インターネットや携帯電話の普及によって子ども達が犯罪に巻き込まれる危険性が増加しています。また頻繁に入ってくる不審者情報も、私たち保護者にとっては心配の種がつかまません。安全部会として各種講演会を通じて「行政」「学校」「地域」「団体」「保護者」が実態や課題を共有し、お互いが協働連携して対策を考える必要があるかと思っております。また、地域の皆様には子ども達の安全を守るため、再度「子ども110番の家」推進のお願いをさせて頂きたいと考えております。子ども達が安心して登下校でき、笑顔で学校生活が送れるよう、皆様のご協力、なにとぞよろしくお願

いたします。

## 体育部担当 副会長

高垣真人



今年度、体育部会担当の副会長をさせて頂きます。向島中学校ブロック代表・向島中学校体育会会長の高垣真人です。一年間どうぞよろしくお願いたします。

今年度、向島中ブロックは9月1日(日)にびんご運動公園で行われる「市P連親睦ソフトバレーボール大会」の事務局を担当させて頂きます。すでに、実行委員会を立ち上げ、役員のみならずと力を合わせ、準備を推し進めているところで、大会のコンセプトは「おもてなしの心」笑顔で紡ぐ親睦の架け橋です。向島中学校では、おもてなしの心を大事にしている、日頃から、色々な取り組みをしています。それをこの大会にも活かし本土から向島へそして因島へと笑顔と親睦の橋をつなげていきたいとの思いを込めています。

この大会の一番の目的は、「親睦」です。役員を始め、多くの保護者の皆さんに準備を手伝って頂きます。又、大会当日は、各学校からも選手として、スタッフとして多数参加して頂きます。コートの中では熱く戦いますが、皆さん笑顔で楽しんで下さい。みんなで親睦を深め、協力することで、より良い大会にしていきたいと思っております。

なにごん不慣れな為、至らない事もあるかと思いますが、大会を成功させる為に、皆様のご支援ご協力をよろしくお願致します。

## 文教部担当 副会長

三阪統之



本年度、文教部担当副会長を拝命しました。高西中学校ブロック代表高須小学校PTA副会長の三阪統之と申します。一年間よろしくお願申し上げます。

第9回尾道市教育フォーラムを担当させて頂いたいただきます。昨年度ご担当の美木・原田中ブロックさんの素晴らしい内容をお見せする工夫を随所に凝らした内容にすべく、ブロック一丸となつて鋭意準備を進めております。私は教育フォーラム自体、昨年初めて参加さ

せていただいたのですが、各学校・PTAさんの個性溢れる取り組み、地域子ども達への思いが手に取るように分かり、とても感動したことを覚えております。

本年度も、ご参加いただく皆様に高西中ブロッケの思いが少しでもお伝えできれば、と、また皆様、スタッフ全員が笑顔で帰れるようなフォーラムにしたいと考えております。

私自身がPTA経験も浅く、皆様方には何かとご迷惑をおかけすることも多いかと存じますが、何よりも「子ども達のため」を最大限前面に出して精一杯努力してまいります所存でありますので、皆様のご指導、ご協力を心からお願ひ申し上げます。

11月24日(日)、尾道市公会堂にてお待ち申し上げております。

### 広報部担当 副会長

山本 淳

今年度も副会長(広報部)を担当させていただきます。吉和小学校育友会会長の山本淳と申します。



紙面の上からではあります。一年間どうぞよろしくお願ひします。

総会でもお伝えしたのですが、広報というのは、総会へ出席されていない数多くの会員の皆さまへ、会の事業報告も行う場であると同時に、市P連から教育に関するメッセージを発信する場であると考えています。

個の時代といわれる現代において、学校教育に保護者は今、何を求めているのか。また各家庭には、子ども達の将来を見据えた、どんな取り組みが必要とされているのか。といった情報提供や、一人ひとりでは届けにくい小さな願いや喜びを発信していくことも、広報の役割だと考えています。

こういった視点から、本年度も市P連会長からのメッセージをはじめとした、会員の皆さまが「学校教育・家庭教育」について考えてくださるきっかけを作れるような紙面づくりに努めてまいります。

また、PTA、育友会活動やその組織を活性化、活発化させるためには、会員の皆さまの声がきちんと届き、その意見が各会議で取り上げられることが一番大切だと考えています。私たちが生きた証となる大切な子ども達が、日々過ごしている学校生活の支えになることで、複数の子ども達のためになることであれば、意

見は何でも良いと思います。

たくさん建設的な声をお待ちしています。終わりにになりましたが、私たち保護者も「あの人は立派な人だなあ、優しい人だなあ」などと子ども達から尊敬されるような大人を目指して、互いに頑張ってみようと思っております。

なぜなら、そういつた大人の姿こそが、子ども達を正しい方向へ導き、それぞれの地域の将来を支える立派な社会人として、成長させることのできる「心の伝記」となりうるのだから。と信じているからです。これからもどうぞよろしくお願ひします。

### おやじ部会担当 副会長 土屋 研



昨年度に続き今年度もおやじ部会担当副会長をさせていただきます。栗原中学校ブロック栗原小学校育友会会長の土屋です。

おやじ部会の主な活動は、「みなと祭の食品販売」と「PTA会長・母代と教頭先生・総括事務局長・事務局長とのなかよし会」そして「因島地区PTA競技大会」への参加です。

特に、「PTA会長・母代と教頭先生・総括事務局長・事務局長とのなかよし会」はPTA活動の実務の面で日頃お世話になっております教頭先生と事務局長の方との交流会という位置づけで実施しております。この会の実施におきましては、おやじ部会所属の皆さんはもとより「母の会さくら」の皆さんの協力無くしては実施不可能ですので、なにとぞ趣旨をご理解の上、協力をさせていただきますようお願いいたします。

話は変わりますが、おやじ部会担当副会長になつてから何時も思っているのですが、どのような活動が「おやじ」にふさわしいのか、また「おやじ」とは何かです。例年、行事に追われ部会の集まりも少なかったのですが、今年度は「おやじ」とは何かを考える会と称して飲み会を行いたいと思っております(今年度はおやじ部会だけで試すに行おうと思っております)。「おやじ」という定義があまりにあやふやなので、1回や2回程度の会議で明快な答えが得られるとは思いますが、色々な価値観、色々な考えを話し合ってみようと思っております。将来的には、尾道市内の小中学校のお父さん方はもとより、「おやじ」の考えに賛同いただけるお母さん方にも色々発信出来れば良いかなと思っております。

### 母の会さくら代表 副会長 木曾 奈美



昨年度に引き続き、おのみち母の会さくらの代表をさせていただきます。久保小中学校の木曾奈美です。

大きな役目をいただいた昨年度の1年間はあっという間に過ぎました。母親代表って何?と思う方に少しでも存在を分かっていたら、引き受けるのが嫌ではない役になってもらいたいなと思いつながら活動してきました。私自身、母親代表として尾道市PTA連合会(市P連)の事業に参加させていただいて、何よりの収穫はたくさんの方と出会えたことです。各学校での保護者同志の交流が大切ですが、そこに他校のお母さんとの交流が増える事により自分自身の視野が広がったように思えます。わが子のこととなると、つい冷静でいられないことが多く、悩みもたくさんあります。学校行事やPTA活動についても、もっと改善できないだろうかと思うこともあります。

昨年度の研修会等で皆さんの意見を聞かせていただく、同じ悩みをみんな持っていたことが分かった、上手な対処法も聞かされていたことができました。「おのみち母の会さくら」はいつもお母さん達の情報交換の場になれればいいなと思っております。

市P連は1年間を通してたくさんの方の事業があり、皆さまのご協力をいただくことが多いです。母親代表の皆さまのご協力がなくては事業の成功はないと思っております。お母さんが笑顔で楽しく活動している姿を子ども達にも見せられるような活動にしていけたらと思います。

### 中学校会長 安藤 能幸



尾道市立中学校16校の単位PTA(単P)会長で組織する中学校会長の会長を務めさせていただきます。長江中学校の安藤能幸です。

本年度は、副会長に白井(久保中)さん・片山(日比崎中)さん・高田(御調中)さん、書記に辻(向東中)さん・大出(重井中)さんのメンバーで運営します。各学期に一度開催する会長会議での情報交換が活動の中心となりますがよろしくお願ひいたします。

PTA活動に関しては色々な考え方がございますが、私は究極のボランティア活動だと考えています。つまり「自分のための活動」の場が育友会(PTA)です。お金まで払って参加している「究極」です。

人間は利害得失ばかりを考える生き物です。これは生存をかけた生物としての本能でもあり、仕方が無いことです。しかし、人間としての大きさは、この本能からどれだけ離れているかで決まると思っています。頭の中の9割が利害得失で占められているなら、残りの1割の内容で人生の幅(豊かさ)が決まるといえます。この1割を、利害得失から離れるPTA活動で得られる「いいね!」で埋めてみてください。

参観日、懇談会まで残り委員を引き受けた自分。休みの日、観望球技大会に出場した自分。夜委員会に出席した自分。自分を磨くため、講演会を聞きに来た自分。そういった自分を「よく頑張っていますね!」と褒めて、「いいね!」と感じて欲しいと思います。

中学校教育の主役は教師と生徒ですが、われわれ保護者もPTA活動を通じて名脇役を演じたいものです。さらに単P活動の主役は、みなさん一人ひとりです。われわれ単P会長も「いいね!」を味わえる場をたくさん用意します。ぜひ主役を演じるにきてください。

### 小学校会長 山本 紳



昨年度に引き続き、小学校会長を務めさせて頂くこととなりました。何卒よろしくお願ひします。

PTA活動に対する考え方は様々だと思えますが、主役は子ども達です。子ども達の為のPTA活動です。この考えを軸に小学校会長の運営してゆきます。

今年度も昨年度まで行われてきた活動の意義をまず考え、それと同時に、効果を検証してまいります。その結果に鑑み現状に沿ったこの会の在り方を模索したいと思っております。

また、市P連の基本理念である「尾道を誇りに思う子ども達」を育てるため、全学校と連携し意見交換と情報の共有化を図ります。限られた時間の中で、力ながら尽力しますので、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



# 140年の思いを鳩に乗せて

市立山波小学校は、5月18日、創立140周年記念大会を開き、同小の保護者や地域住民を招いて行われ、全児童241人と教職員らが参加し華やかに開催し記念碑の除幕式や児童のメッセージを寄せた鳩の形をした3000の風船を空に放しました。

記念大会は午後2時から行われ、国歌と校歌斉唱で開幕し、「山波地区子ども会地域貢献青少年表彰受賞」の報告や記念に作成した、学校の140周年の歩みと、伝統文化を継承する活動を紹介した映像を上映。児童らは、明治・大正・昭和の学校の写真を驚きの声を上げ、保護者は懐かしい風景を、思い出深そうに眺めていました。記念事業として長年にわたり同小の取り組みに貢献していただきました9名の方に表彰状が送られました。

山波町には、桃太郎のモデルになったとされる吉備津彦命(きびつひこのみこと)の伝説が残ることから、6年生児童らが、桃太郎にちなんだ宣言を発表。これからも元気に優しく行動することを誓いました。

児童らが放った鳩風船は、数日後、鳥取県や岡山県の方から「風船が届いた」との知らせを受け、「140周年おめでとうございます。児童の夢が叶ったらいいですね」などのお言葉・お便りをいただき、素敵な思い出となりました。

山波小学校は、明治6年1873年に、「葉師庵」(やくしあん)と呼ばれた寺院を校舎として開校。2度の移転を経て、現在に至っています。



山波小創立140周年記念大会

尾道市立山波小学校 140周年記念大会実行委員長 藤本洋幸

## 東日本大震災支援活動

**支援金募金活動を継続しています！  
被災地で困っている子どもたちを  
みんなで支えよう！！**

(社)日本PTA全国協議会では、東日本大震災により孤児・遺児となった子どもたちの就学助成を行うことを目的として「心のきずな61キャンペーン」と題する公益信託基金を設立し、平成28年までの5年間の継続した取組みを行っています。広島県及び尾道市PTA連合会もこの趣旨に賛同し、今年度も活動を継続しています。各単位PTAを通じて集められた募金や、書き損じハガキの現金化による募金を市P連へ届けてください。少しずつでも関わることが、東北に向けた「愛」につながっています。



平成24年度支援金募金状況  
尾道市PTA連合会分 28万8,913円  
(広島県全体 532万6,518円)

皆さまのご協力をお願いします。

「心のきずな61キャンペーン」守ろう子どもたちの笑顔と未来



## 広報紙コンクール 優秀賞受賞



広島県PTA連合会が主催している「小・中学校PTA広報紙コンクール」において、県内63校が応募する中、尾道市では次の各校が入賞しました。栄えある入賞、本当におめでとうございます。

なお、優秀賞受賞作品は、全国小・中学校PTA広報紙コンクールに県代表として提出されます。

全国入賞に期待が高まっています。

優秀賞 尾道市立高須小学校PTA (広報紙名: たかすつ子)  
優秀賞 尾道市立土堂小学校PTA (広報紙名: T-I-P-R-E-S-S)  
会長特別賞 尾道市立向東中学校PTA (広報紙名: 地の塩)

